

全豪オープンのデフテニス部門で新たな伝説誕生

日本人が史上初の優勝！

全豪オープンは、毎年1月後半にオーストラリアのメルボルンで開催されるテニスの四大大会の一つです。昨年から、初めてデフ(聴覚障がいと知的障がいの各部門が全豪オープンに取り入れられました。昨年の9月にギリシャで開催された世界デフテニス選手権の結果により、国際ろう者スポーツ委員会(ICSD)が定めた世界ランキングで、菰方里菜選手が1位となり、宮川百合亜選手は2位、鈴木梨子選手は3位に入りました。

このため、全豪オープンへの招待は世界ランキングベスト8選手が選出されます。日本ろう者テニス協会所属の3人と松下強化総括部長が遠征しました。



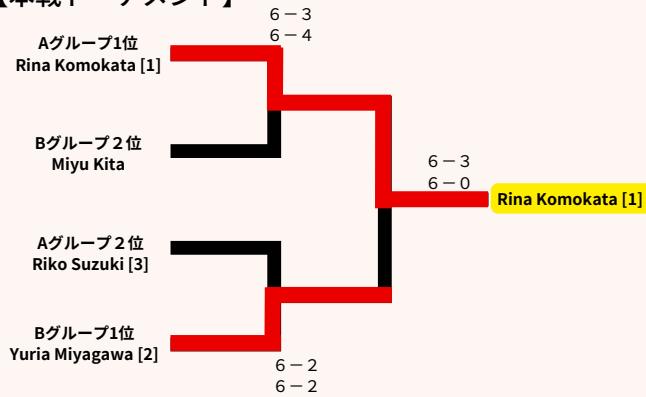
【シングルス予選リーグ Aグループ】

	Rina Komokata [1]	SRBStasa Srbulovic	Riko Suzuki [3]	Jana Janosikova	
Rina Komokata [1]		6-1 6-0	6-1 6-0	6-1 6-1	1位
SRBStasa Srbulovic	1-6 0-6		4-6 5-7	6-4 3-6 10-12	4位
Riko Suzuki [3]	1-6 0-6	6-4 7-5		6-4 6-4	2位
Jana Janosikova	1-6 1-6	4-6 6-3 12-10	4-6 4-6		3位

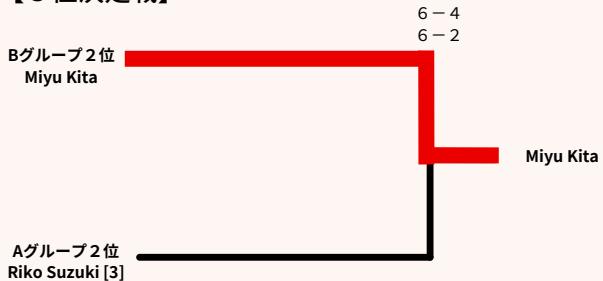
【シングルス予選リーグ Bグループ】

	Yuria Miyagawa [2]	Miyu Kita	Katerína Blaščíková [4]	Isabel Cairns	
Yuria Miyagawa [2]		3-6 3-6	7-6(1) 6-3	7-6(2) 6-0	1位
Miyu Kita	6-3 6-3		6-3 4-6 5-10	3-6 6-3 10-3	2位
Katerína Blaščíková [4]	6-7(1) 3-6	3-6 6-4 10-5		1-6 6-3 10-5	3位
Isabel Cairns	6-7(2) 0-6	6-3 3-6 3-10	6-1 3-6 5-10		4位

【本戦トーナメント】



【3位決定戦】



【ダブルス総当たり戦】

ルール：

ペアは、ランキング1位と8位、2位と7位…という組み合わせとなっています。



	SRBStasa Srbulovic Katerína Blaščíková	Isabel Cairns Rina Komokata	Miyu Kita Yuria Miyagawa	Jana Janosikova Roko Suzuk	
SRBStasa Srbulovic Katerína Blaščíková		3-6 0-6	4-6 2-6	1-6 2-6	4位
Isabel Cairns Rina Komokata	6-3 6-0		0-6 2-6	6-3 6-2	2位
Miyu Kita Yuria Miyagawa	6-4 6-2	6-0 6-2		6-2 6-2	1位
Jana Janosikova Roko Suzuk	6-1 6-2	3-6 2-6	2-6 2-6		3位

菰方里菜選手（同志社大学）シングルス優勝 ダブルス準優勝



会場の雰囲気もいつもと違いとても緊張しましたが、最後まで楽しくプレーすることができたので良かったです。優勝できたのも周りの方々のおかげでもあるので、感謝の気持ちを忘れずにこれから先もっと頑張っていきます。デフリンピックでも優勝できるように頑張ります。今大会応援してくださった方々ありがとうございました。

宮川百合亜選手（日本大学）シングルス準優勝 ダブルス優勝



今回憧れであった全豪オープンでシングルス準優勝、ダブルス優勝という結果を残せてとても嬉しいです。万全な状態ではなかったですが、次こそシングルスは優勝を目指して頑張っていきたいと思います。また、応援、サポートしてくださった皆様ありがとうございました。皆様のおかげでここまで来ることができました。これからも全力で頑張りますので、応援サポート宜しくお願ひ致します。

鈴木梨子選手（専修大学）シングルス4位 ダブルス3位



純粋にテニスをしている人なら誰もが夢見る舞台でプレーができ、とても嬉しかったです。これまでデフテニスを支えてきてくださった、盛り上げてくださった皆さんのお活動があって、夢のような舞台で試合ができたことを忘れません。

個人の結果としては必ずしも満足のいくものではありませんでしたが、今大会は通過点であるとして、今後に活かせるよう目の前のことからまた頑張ります。

松下哲也強化総括部長（富士通エフサス）



3選手のサポートとして帯同しました。大会の練習コート手配や連絡先とかのシステムが不明でしたので、少しは悪戦苦闘しましたが、選手からのフォローもあって乗り切ることが出来ました。

選手達は2日間で真逆の季節に対して調整が苦労、怪我で十分な練習が出来ない選手もありました。最後まで諦めず戦い抜いた結果、シングルス優勝、準優勝、4位とダブルス優勝、準優勝という素晴らしい成績を収めることができました。

選手に対して頑張ってサポートしたかいがあったことと素晴らしい試合を見て頂いた選手に感謝します。

日本、現地から応援してくださった方、本当にありがとうございました！日本ろう者テニス協会の諸活動に対し、改めてご理解とご協力をお願ひいたします。